

高松医療センター Medical News

私達は、患者さんとそのご家族の立場に立った医療の推進に努めます

入梅の候、皆様方にはお変わりなくお過ごしでしょうか。
さて、私ども高松医療センターに4月から新しい職員が加わりました。
今回のメディカルニュースでは、新入職員と当院の各病棟・外来の概要を紹介いたします。
ご一読いただければ幸いです。



新入職員紹介

令和5年4月から神経内科医師として勤務しております、千葉雄太と申します。現在医師6年目で内科、神経内科の専門医取得に向け日々勉強中です。この度、神経筋疾患患者の診療を重点的に行われている当院で勤務させて頂くことになり気持ちも新たに全力で取り組む所存です。

神経内科で扱う疾患は、治療開始後も疾患と共に生活しなければならないものが多いですが、それでも患者さんの生活が少しでも改善するようサポートすることが神経

内科医の役割の一つと思っています。当院はまさに医療と患者さんの生活を繋ぐ役割を担っており、私たちの関わりが患者さんの生活にどう影響するかが見える点に、やりがいと緊張を感じます。問題点を見つけるには各専門職からの広い視点が必要ですが、スタッフの皆さんには各々の専門分野からご指導頂き、大変勉強になっております。若輩者ではありますが、少しでも地域の患者さんのお役に立てる様努力して参りますのでよろしく願いいたします。



神経内科
神経内科医師

千葉 雄太
CHIBA Yuta

この度令和5年4月1日付で四国こどもとおとなの医療センターより参りました、薬剤科長の寺山恵子と申します。どうぞよろしく願いいたします。
四国での国立病院機構勤務は3施設目になります。副薬剤部長を2施設8年間勤めた後、薬剤科長という役職を拝命し、薬剤科トップという大任が務まるのか日々、不安を感じているところです。

薬剤師は医薬品の適正使用に貢献し、医療安全、患者安全を確保することが使命で

す。薬の専門家として多職種協同・連携し、質の高い医療が提供できるよう努めなければなりません。そのためにも、チーム医療に積極的に参加し、チームワークを大切にする薬剤科作りを目指してまいります。薬剤師の次世代教育にも力を入れ、職能発揮し組織の一員として高松医療センターに貢献できるよう努力してまいります。真摯に日々の業務に努めますので、なにとぞご支援ご指導のほどよろしく願いいたします。



薬剤科
薬剤科長

寺山 恵子
TERAYAMA Keiko

新入職員紹介

この度、令和5年4月1日より副看護部長を拝命いたしました和田津恵美と申します。出身は徳島県で3回目の異動で初めての県外勤務となりました。隣県であることに加え、神経筋難病と呼吸器疾患の診療科を持つ当院は、私が今まで勤務してきた施設と重なるため親近感を覚えております。私自身の知見と技術や経験をもって皆様が安心して看護にあたることができるよう共に努力してまいります。

さらに副看護部長として病院運営にも携わることになるため、知識の習得だけでなく

皆様お一人お一人とコミュニケーションを図りながら様々なご意見やご要望にも真摯に取り組むたいと考えております。

なにぶん不慣れでご迷惑をおかけすることが多々あるとは思いますが、皆様のご支援とご指導のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



看護部
副看護部長

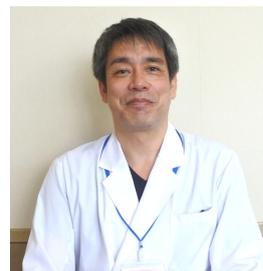
和田津 恵美
WADATSU Emi

この度、令和5年4月1日付で臨床検査技師長として赴任して参りました中藤 太一と申します。出身は山口県下関市で、国立下関病院の非常勤からスタートして、岩国医療センター、関門医療センター、浜田医療センターで勤務させていただき、高松医療センターで4施設目、初の四国での勤務となります。文化や歴史が深く、美しい自然が凝縮され、病院から見える高松市の街並みがとても気に入っています。

当院の今年度目標にある「コミュニケーション力」の実践を効果的にアピールできるよう

に、「聞く力」「伝える力」「連携する力」を意識して、チーム医療の一構成員として他部門と連携していきたいと考えています。まずは、働きやすい・働きがいのある職場環境づくりに着手し、皆様から頼られ、愛される研究検査科を目指していきます。

まだまだ不慣れな点が多く、ご迷惑をお掛けすることも多々あるかと思いますが、1日も早く高松医療センターの力になれるよう職務に邁進して参ります。これからどうぞよろしくお願いいたします。



研究検査科
臨床検査技師長

中藤 太一
NAKAFUJI Taichi

この度、令和5年4月1日付けで四国こどもとおとなの医療センターより赴任して参りましたリハビリテーション科理学療法主任の池田さなみと申します。これまで急性期リハ、回復期リハ、デイケア等を経験してきましたが、慢性期の、特に難病領域は初めての経験になります。自分自身の知識を深めるとともに、皆さんに色々なことを教えていただきながら、一日も早く患者さんに良いリハビリテーションを提供できるように努力していきたくて思っております。

また、令和3年度から開始しているパーキンソン病患者さんのブラッシュアップ入院についても先生方、病棟スタッフの皆さんにご協力いただきながら、私自身も訓練に関わっていきたくて思っています。

理学療法士として成長していくのはもちろんのこと、スタッフみんなが仕事をしやすい環境を提供できるよう、縁の下の力持ちになり、下支えできるような主任を目指して頑張っていきます。よろしくお願いいたします。



リハビリテーション科
理学療法主任

池田 さなみ
IKEDA Sanami

病棟・外来紹介

1 病棟

1病棟はパーキンソン病ブラッシュアップ入院や糖尿病の教育入院、脊椎造影検査入院等を積極的に受け入れています。また、神経筋難病患者さんのレスパイト入院の受け入れも行っています。パーキンソン病ブラッシュアップ入院では、患者さんの想いを聞きながら一緒に目標を設定し、患者さんの状態や希望に添ったリハビリ内容を検討し、多職種

で共有しながら共にリハビリに取り組んでいます。ブラッシュアップ入院の修了式を終え退院される時には達成感に溢れた笑顔を見せてくれ、私たちも嬉しくなります。

私たちは患者さんの想いに寄り添い、それぞれの患者さんに合った質の高い看護を提供できるよう多職種で協働し、日々取り組んでいます。



ブラッシュアップ入院
修了式

2 病棟

2病棟は障害者病棟40床、結核ユニット20床を合わせた60床の病棟です。特に結核病床は、香川県の最終拠点病院としての役割を担っています。閉鎖された環境の中ですが、患者さんが少しでも心地よく入院生活を送れるよう心がけています。障害者病棟は、多系統萎縮症、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症などの神経筋難病疾患で長期療養生

活を送られている患者さんが入院されています。またCOPDなどの呼吸器疾患に対する急性期、慢性期治療、HOT導入などの在宅復帰支援や退院調整などを行っています。

私たちは、一人ひとりの患者さんが安心して入院生活を送れるよう、患者さんやご家族のところに寄り添い、日々の関わりを大切にしたい看護を行っています。



退院を見据えた
カンファレンス

3 病棟

3病棟は神経・筋難病や重症心身障害者の長期療養を目的とした患者さんが入院しています。多くの患者さんが人工呼吸器を装着し、残存機能を活かした生活スタイルが継続できるよう看護しています。患者さん一人ひとりにあわせたコミュニケーション方法

で、患者さんの意思を尊重しながら看護が継続できるよう日々取り組んでいます。また、在宅療養を希望される患者さんへの医療的ケアの指導や短期入所・レスパイトの受け入れも行い、ご家族と共に患者さんのQOL向上に努めています。



人工呼吸器を装着しての
院内散歩

5 病棟

5病棟は神経・筋難病を主とした療養介護病棟で、入院患者さんの90%が人工呼吸器を装着しています。『患者さん・ご家族の思いに寄り添ったあたたかい看護・介護』を提供できるよう、定期的にベッドサイドおよび多職種カンファレンスを行い、個別支援計画の立案・実施・評価を行っています。透明文

字盤を使用しなければ会話ができない患者さんがほとんどですが、一人ひとりの患者さんとのコミュニケーションを大切に、食事や入浴などの日常生活援助、また散歩や季節行事など、患者さんが楽しみや生きがいを持って毎日を過ごせるように関わっています。



屋島を望む遊歩道での
院内の散歩

外来

外来では内科、神経内科、呼吸器内科、リハビリテーション科等の診察を行っています。看護師は外来患者さんが安心して診療や検査ができるようにサポートしています。また、看護外来では糖尿病を持つ患者さんの合併

症予防や重症化防止のため、多職種と連携をしながら支援しています。

患者さんが医療・介護等のサービスを、必要時に切れ目なく受けられるために、スタッフ一同、知識と技術の向上に努めています。



糖尿病患者さんのフットケア

外来診療担当一覧表

診療受付：8：30～11：30

診療時間：8：45～17：15

令和5年6月1日現在

診療科		月	火	水	木	金
内科	午前	大森 実	糖尿病 細川 等	糖尿病・禁煙外来 細川 等	糖尿病 細川 等 内科 山野 智子	
	午後	山野 智子	糖尿病 細川 等			
神経内科	午前		市原 典子	第1・3週 鎌田 正紀 第2・4週 渋田 佳子		小児神経内科 第1・3週 茅田羅 勝義
	午後	國土 曜平				小児神経内科 第1・3週 茅田羅 勝義
呼吸器内科	午前	東條 泰典	田所 明	二見 仁康		田所 明
	午後			東條 泰典		
消化器内科	午後				松木 美知子	
循環器内科	午前			辻 哲平		ペースメーカー外来 (隔週)宮井 翔平 (隔週)守家 聖二
	午後		水重 克文			第2・4週 水重 克文
外科	午前					
	午後			浅野 栄介 松川 裕之		
整形外科	午前	濱崎 寛	藤木 敬晃			
	午後				濱崎 寛	山上 佳樹
泌尿器科	午後				加藤 琢磨	
皮膚科	午後	第1・3・5週 岩田 昌史 第2・4週 田中 久夢				
歯科	午後		十河 京子			平井 杏奈

※診察は予約診療を基本としています。診察予約につきましては地域医療連携室へお問い合わせ下さい。

アクセス

〒761-0193

高松市新田町乙8番地

地域医療連携室

TEL：087-841-2162

FAX：087-841-2178

お車をご利用の方

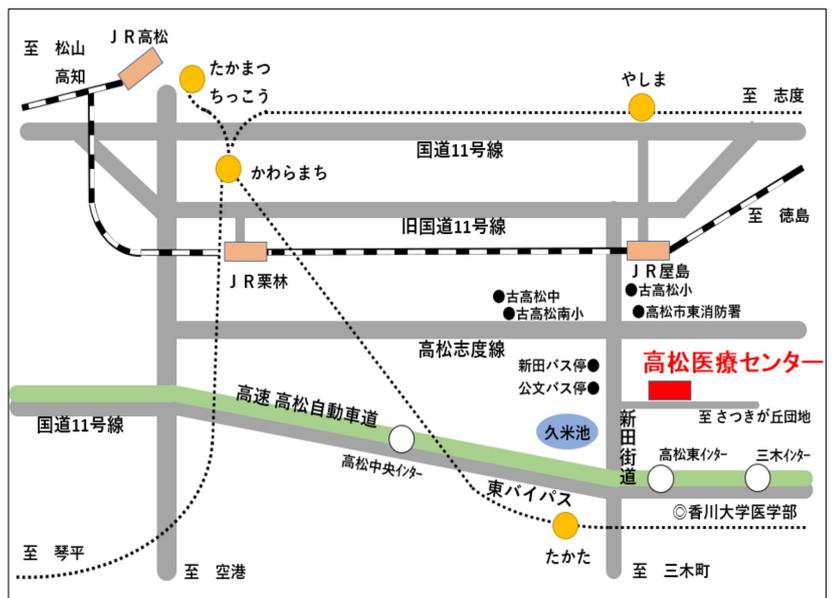
J R屋島駅西側(馬場先)から南へ延びる新田街道の途中、信号機のある三叉路を東に上がった丘陵地にあります。駐車場は無料。

バスをご利用の方

ことでんバス『大学病院線』乗車

(起点：高松駅 終点：ことでん高田駅)

『高松医療センター』下車



独立行政法人 国立病院機構 **高松医療センター**
NATIONAL HOSPITAL ORGANIZATION TAKAMATSU MEDICAL CENTER

発行責任者：院長 細川 等

編集責任者：統括診療部長 東條 泰典

こちらのQRコードから当院の
ホームページをご覧くださいませ→

